

二階俊博 — 全身政治家 —

なぜ、二階俊博は年と共に「進化」と「深化」を続けられるのか。その「全身政治家」の本質と人となりに鋭く迫る最新本格評伝。

目次

- 第一章 二階俊博という「運命」
- 第二章 二階俊博という「風土」
- 第三章 二階俊博という「不器」
- 第四章 二階俊博という「政治芸」
- 第五章 二階俊博という「外交芸」
 - (一) インドにおける外交芸
 - (二) 中国における外交芸
- 第六章 二階俊博という「方法」

内容紹介

—その人物（二階俊博自由民主党幹事長）は、見るもの触れるもの聞こえるものといった五感、そして頼まれたこと、あるいは頼まれもしていないものまで、政治化する「全身政治家」であり、かつ地元や永田町はおろか日本全国そして世界に出向く「東西南北の政治家」である。

二階俊博は七十八歳。当選十二回を数える衆議院議員。そのような現役政治家を在職中に論じることは、書き方によっては（中略）極めて危険かつ失礼な作業となるだろう。政治家の評価は彼が世を去っても定まらないのは世界の共通認識であるからだ。

にも係らず二階俊博については、バリバリの現役である今だからこそ書いてみたいのである。なぜなら、政治家に限らないが、人間は年齢と共に、円熟し、孔子の言葉でいえば、七十八歳の二階は「七十にして心の欲する所に従って矩（のり）を踰（こ）えず」の心境に達しているはずなのに、矩を飛び越えてさらに「進化」と「深化」を続けているからである。それどころか、現代政治の妖怪という評まで出始めている。中国の日本研究者からは鄧小平みたいになってきた、という評価すら出ているのである。（石川 好）



【著者紹介】

石川 好（いしかわ よしみ）1947年東京都大島町（伊豆大島）生まれ。大島高校卒業後、米カリフォルニア州に渡って、長兄の農園で働く。慶應義塾大学法学部卒業後、再渡米。1989年『ストロベリー・ロード』で第20回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。現在は、ノースアジア大学客員教授、山形県酒田市立美術館長などを務める。前「新日中友好21世紀委員会」日本側委員、湖南大学客員教授、日本湖南省友の会共同代表。著書に『湖南省と日本の交流素描—中国を変えた湖南人の底力』、『漫画家たちの「8・15」』、『李徳全—一日中国交正常化の「黄金のクサビ」を打ち込んだ中国人女性—』（監修）など多数。

ご注文は、全国の書店、アマゾンなどをご利用いただけます。トーン 日販 その他 取次コード：5752

 二階俊博 — 全身政治家 — ISBN 978-4-86185-251-0 発行日：2017年11月11日 四六判 312頁（上製本） 定価：本体 2200円＋税	注文部数	ご注文 / 番線印
	部（送料無料）	
送信 FAX 03-5956-2809	注文部数、住所 〒、氏名、電話番号をご記入ください	